

(1) 平成22年10月25日(月曜日)発行 第30号



# 女性大學生 大和魂を發揮する

開通が延びる。開通する山口、高瀬地区の工事が進んでいます。その太和田では本線に上にある山の上で発掘作業が行われています。大和田遺跡群といい、土器や石器が出土しています。

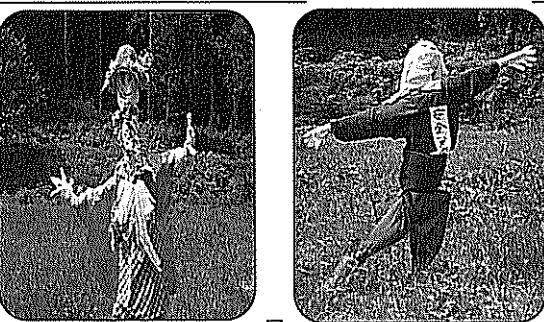
みせてもらひに住居跡がない」とから仮小屋のようなものではなかつたかという説明を受けました。小高いこの台地からはダム湖が一望され、古代の人間遺が見たであろう光景に思いをはせることが出来ます。

一六・一七日、共立女子大・短大の学生達が植木武教授の指導の下に発掘体験をしました。植木教授の話では、共立女子大考古学爱好者会はこれまで奈良の遺跡群や長野の縄文遺跡などを見学してきたそうですが、発掘そのものの実体験は今回が初めてで、学生達も楽しんでいたそうです。この大和田遺跡群の発掘作業を指導している千葉県文化財センターの上席研究員の森本さんが植木教授の後輩にあたり、その縁で今回の発掘体験が実現したそうです。

森本先生によれば、ここでは一万年前から人000年前の縄文時代早期、草創期の石器や土器が出土しているそうです。石はこの辺にないので明らかにどこからか持つてきただのであるそうで、実際に発掘された石器を見せてもらつたところ、丸みを帯びて相當に使い込まれた印象でした。当時は食料を求めての移動生活だったそうです。また平安時代と思われる住居跡も

平成22年  
秋号

発行 市原商工会議所  
加茂里山通信編集部  
発行責任者・編集長  
征矢 貫造



作です。飯給駒周江  
いる市原ルネサンス  
頼によるものでした  
が、子供達が樂し  
みながら一生懸命  
命に造つた成りは  
見事な作品となり  
ました。秦  
山子といふと直  
を追い払うため  
に人間のように

吹き飛ばして  
もいと自由じども  
と動きがあつて、ファシショナブルなものです  
中にワラを入れ、子供達が持参した古着や帽子など  
などを活用しています。デザインし、実際に造  
ていく課程でどんどん派手なものになつていきました。  
何よりも子供達が造ることを楽しみ、出来たものに満足し喜んでいたそうです。実際に休耕田に配置されたそれらは、鳥廻いのかな  
しと云つよりは五体の作品という感じを受けました。  
した。緑に囲まれた田んぼの中につつて、実によく決えていました。

り、クーラーの室外機に直射陽光があるのも防ぎ、さらに目に涼しいという効果もあり、そして何よりそれだけの効果がありながら費用はほとんどかからないというすればらしさ。最近では民家でもよく見かけるようになりました。小学校ではこんどは一階の教室まで覆つくりに青じで、子供達を少しでも涼しい環境にしてあげたいとのことでした。

養老渓谷の駅から玉衛橋を渡った右下側の大きな古民家が、「アートハウスあそばらの谷」として、芸術作品の企画展示をする場所へと生まれ変わります。古民家としての雰囲気を出来残るだけ残して、そこにおけるアートとの融合を図り、全国レベルの芸術文化の振興を目指すとしています。加茂地区に数多く残る古民家、それも空き家となっているものの活用として、注目すべき試みと言えます。養老渓谷には古民家を再生したそば屋さんも近年開業しています。「つかした使われていない古民家を何らかの形で活用していくければ、いろいろな可能性が見えます。アートハウスあそばらの谷」はその意味からも今後の活躍を期待します。され、養老渓谷の秋の深まりとともにオープンしますが新たなアートの発信拠点として注目されます。

もあります。広大な山林を町会で所有してお  
り、皆さんが飲用する水のある高滝ダムに、未  
永くきれいな水が流れ込むように、町会全員  
で不法投棄の見廻りなどをしています。悪徳業  
者が土地購入できないように、二年前にも町会  
でゴルフ場予定地であった土地を購入して、自  
然林として管理を続けています。源流の水はそ  
のまま飲めます。出来る限りのことをして月出  
から流れる川の水はきれいにとみんなが思つて  
努力しています。

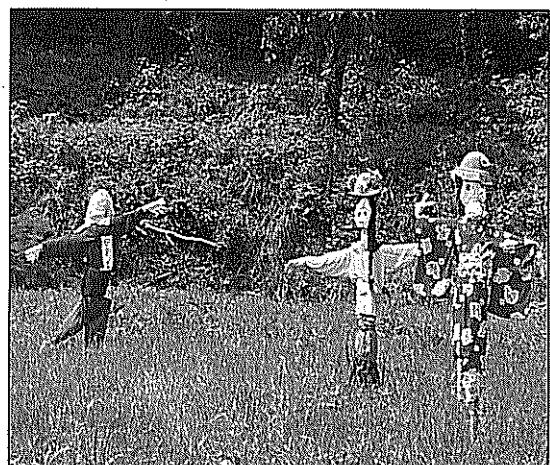
時代の流れとはいって、地元から学校がなくなるのは非常に悲しいものがあります。廃校になつた学校がこうして老人クラブの人たちの手でいつもきれいにされているのを見ると、子供も先生もいなければ、学校が生きていると感じます。近い将来、小学校が統合されて、それぞれの地区的な小学校が廃校になります。地域の小学校から生徒や先生がいなくなる日が来ても、地区の人たちが



二階のある古民家です

月出町会

第一回 町会紹介



# 里山からの発信

里見小の子供達の造ったかかしを見た後で、ある時テレビでかかし祭りの様子を見ました。ためにネットで調べてみたところ日本のあちこちで里山子のコンテストやお祭りなどが催されていることが分かりました。山形の上山温泉では一九七一年から里山子祭りをやついて、その名も「上山温泉全国かかし祭」で、その口上は「かかしは古くから豊作を守護する田の神として貢献してくれた田園のヒーローです」となります。公園を埋め尽くす全国からの様々に工夫されたかかし達はその時々の時代を映すものとして多くの人の目を楽しませてきました。そして、温泉とあわせた相乗効果で、全国からの観光客も一段と増えており、新しいアイディアによる盛大な「野外芸術展」となっています。

また、奈良県明日香村では彼岸花祭りとともに、かかしロードが設けられています。山間の田んぼに咲き乱れる彼岸花（曼珠沙華）と全国からの観光客と一緒に、新たな「野外芸術展」となっています。

里山からの発信

（漫）

小雨が降る10月9日(土) 今年も小湊沿線を中心に乗の花の種まきが行われました。

(一) 数年の積み重ねで、各地で見事な乗の花が咲くようになり、里山通信の前回号でも掲載されました。したよに、飯給駅が新刊の小説本の表紙を飾るなど、乗の花の名所としてジワジワと周知されていきます。この事業の目的は地域の観光資源づくりと、公共交通機関としての小湊鉄道路線の活性化です。回を重ねることに参加団体も増え続け、ボランティア活動の活性化にも役立っています。以下、参加団体の紹介。

株式会社アート  
2010

年は初めから加茂公民館で開催などと  
いう人もいるくらいの熱気が感じられました。今年の優勝は  
富山地区で確か三連覇。僅差の一一位は白  
鳥地区でした。豪華賞品が揃えられた抽  
選会の効果か、最後まで参加者も減ることもなく、加茂地区  
挙げての体育祭となりました。

夏の猛暑の影響でしようか？秋風が吹いた途端に雨ばかりです。そんななか市民体育祭は加茂中体育館での開催となりました。（10日）グランドが使えず残念ながら…と書くところですが、体育館の大会も結構良かったのです。広いグランドでは「今、競技は何やつてんの？」という感じです。観客もまばらで何となく淋しいところがあるのですが、狭い体育館ではおのずと一体感が出て、競技も応援も盛り上がりります。実行委員のなかには「来

出雲大社は因幡の白うさぎの神話で有名な大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）をお祀りしている古社です。十月になぜ出雲大社に神様が集まると言いますと、大国主大神は縁結びの神様として信仰されており日本全国中の神々はこの月に大国主大神のもとで縁結びの相談をするからと考えられているからです。ですが、ほとんどの神様が出雲に出かけていて神様がないはずの十月なのに、實際には十

じいなくなる？用

月？！なるがいなく大神様

き・かみなしづき」についてお話ししようと思います。ご存知の通り神無月というのは十月の旧称ですが、よく云われているのは「神無月の十月」です。確かに出雲大社で全國から參集する神様をお迎えする「神在祭（かみありまつり）」を行つてから出雲地方では神在月（かみありづき）と言います。

出雲大社は因幡の白うさぎの神話で有名な大国主大神（おくにぬしのおおかみ）をお祀りしている古社です。十月になぜ出雲大社に神様が集まると言ひますと、大国主の相談をするからと考えられているからです。ですが、ほとんどの神様が出雲に出かけていて神様がないはずの十月なのに、實際には十

今回は「神無月（かんなづき・かみなしづき）」についてお話ししようと思います。ご存知の通り神無月というのは十月の旧称ですが、よく云われているのは「神無月の十月」です。確かに出雲大社で全國から參集する神様をお迎えする「神在祭（かみありまつり）」を行つてから出雲地方では神在月（かみありづき）と言います。

出雲大社は因幡の白うさぎの神話で有名な大国主大神（おくにぬしのおおかみ）をお祀りしている古社です。十月になぜ出雲大社に神様が集まると言ひますと、大国主の相談をするからと考えられているからです。ですが、ほとんどの神様が出雲に出かけていて神様がないはずの十月なのに、實際には十

A black and white photograph of a modern architectural complex. The central building features a long, low profile with a large, flat roof and a glass facade. In front of the building is a paved area with several small trees and a parking lot containing several vehicles. The background is dominated by a dense forest of tall evergreen trees.

千葉県いすみ  
環境と文化のさとセンター  
ゆったりとした時間の過ごし方をして  
みませんか。

〒298-0111  
千葉県いすみ市万木2050  
TEL 0470(86)5251  
FAX 0470(86)5252  
<http://www.isumi-sato.com>

応募に当たっては、センター発行のチラシなどで応募要項をご確認ください。また、上記のホームページにも募集要項が掲載されています。

# いすみ 環境と文化の 県環境テストのこゝ案内

月はあら「ち」で秋祭りが行われています。  
十月十七日に行われた高瀧神社大祭の神輿渡御にも御神輿に神様をお移しし神輿が巡幸することにより氏子のみなさんに神様のご親徳を与えてくださる意味があります。ですから神無月（十月）といつても神様がいないわけではないんですね。  
神無月の語源は諸説ありますがもともと「神な月（かみなづき）」すなわち神の月という意味からきており各助詞の「な」の宛字で「無」が使われたのを中世以後出雲大社の御師（おんし）（※特定の寺社に所属して、その社寺へ参拝者を案内し、参拝・宿泊などの世話をする者）が出来雲が神在月（かみありづき）と呼ばれている事の対比として広めたのではないかと云われています。  
そんな訳でありますからカレンダーの明記を「神無月」から「神の月」と変えた方がいいのではないかと私は思います。

# 人と環境が一体となって大切な未来へ 自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野26 TEL 0436(96)1311  
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511  
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

## 加茂里山通信

猛暑といわれた夏の暑さもあり、3日の秋雨と共にすっかり秋めいてきました。人それぞれ季節の感じ方は違うと思いますが、この加茂地区では季節を五感で感じる事が出来ます。たとえば、霜刈りのあとでの野焼きの匂い、秋風に揺れる秋桜、少し黄ばんだらずの実、食卓に載った茹で栗、分厚く切られたさつま芋のてんぷら等々たくさんの物があります。個人的にはキンモクセイの香りがどこからともなく風の流れに乗って匂うとき、「山にきのこは出たのかなー」わざわざ、「神社の秋祭りだな」と秋の到来をすぐさま思い起こします。もし、都内に住む人達にキンモクセイの香りから連想できるもの上げてもいいたい、きっと「トイレ」という答えが一番になるのではないかなどと勝手に思い込んでしまいます。この新聞が発行される頃には柿の実も食べられるを迎えていることでしょう。

とにかく、この地においては本当の意味での初物を味わう事が出来るのです。春にはたけのこ、わらびなどの山菜はもとより、うぐいすの声やツバメの巣作り、菜の花街道、夏には「ケーン、ケーン」と鳴くさじの声、「チャ、チャ」とすっかり声変わりしたうぐいすの鳴き声、露地物のキュウリやトマト、どうもろこしなど、冬には霜柱や氷柱(温暖化の影響なのか少なくなりましたが)と、とにかく都会では感じることの少なくなった自然がまだまだたくさんあるのです。関東で一番遅いと言われる紅葉の頃、久しぶりに大福山に出かけてみようと思います。

べっぴ語

客A「川口屋、今年のワカサギのあんべいはどうでえ?」私「去年よりはわざわざいけつど数はいづらい、いつとねもうよ」客A「あんにしきつてよ、うちでは一さんとあたつて顔をつきあわしてたつておんもんしきねーけん一日あそぼしてくつどよ。」私「たまにやつよーボー

tron乗つてわがさぎ釣りやつてみつがいよ。いつもよりしつか一鉤れつとねもうよ」客A「やつてみてーとおもうけんとねーこつたによー、おら一船酔いすりだよー」と言いつつ足元にはワンカシップが3本ほど転がっていました。

# 米加茂くらぶだより



2010



## フアミリー居酒屋「蘭」

高滝駅から徒歩5分、養老の田川歯科の向かいに居酒屋がOPENしました。  
お店の名前は「フアミリー居酒屋 蘭」...  
ここはたしか「仲」だったところ、フアミリー居酒屋? 声高いお邪魔したところ、明るい女将さんが出迎えてくれました。さりげなくした族の負担がずいぶん減りますよ」と再三に亘つてアドバイスをもらつてしまつても、ヘルパーにあまりいいイメージを持つておらず、「看護師さんならともかく、ヘルパーにできる事なら自分にできる」と考えていた私は断つていきました。

訪問介護員(ヘルパー)に来てもらえばご家族の負担がずいぶん減りますよ」と再三に亘つてアドバイスをもらつてしまつても、ヘルパーにあまりいいイメージを持つておらず、「看護師さんならともかく、ヘルパーにできる事なら自分にできる」と考へていた私は断つていきました。ところが前回の戯言に書いたようにこの五月に脳梗塞で入院してからは寝たきり状態になつてしまい、渋る私を「ヘルパーさんへ来てもらいましょ」と説き伏せた敏腕美人ケアマネージャーの言葉に従つて来てもらつ事になりました。

初日に来てくれたヘルパーさんの仕事ぶりに目を見張りました。それまでは「ヘルパーなんでもうこつと来て決められた時間内に事務的に仕事をして、終わつたらペコリと頭を下げて帰る人」と安易に考へていた私の想像を、僅か三十分で完全にひっくり返してしまつたのです。

優しく語りかけながら注意深く体調を確認する

と、自分と同じくらいの体重の母の身体を見事な技術で体位を変え、汗だくになりながら懸命な仕事ぶりに感動すら覚えました。赤の他人にどうしてそんなにそんなに優しくできるのかと問う私に「これが私の仕事ですから...」

とにかく答えてくれる顔と言葉には、介護

ウォーターサーバーも、今年は三日間でボトル六本を飲みきつてしまつたほどだ。

初日は、二階の鈴木学級(通称ドラム部屋)に練習用ドラムを四台置き練習場にしていたのだが、あまりの暑さに練習にならない、とのことで冷房の効いている職員室を急遽ドラム部屋として開放する」とことなつた。

三日目の発表会では、五バンドに分かれて練習の成果を披露したが、発表会前の余興にはなんと一四組が出場。余興だけで二時間超の長丁場となつた。

合宿の詳細については、これまでにも何度も紹介しているので省略したい。

だ言えるのは、これまでに何度かなつた母の体調の変化を瞬時に見抜いて適切な処置をしてくれた方、必要もない爪切りをせがむ母に笑顔でやすりを当てる方等々、その優しさと気遣いは数え上げればきりがありません。今は、食わず嫌いだった自分の狭量を恥じ入り、ヘルパー導入を強く勧めてくれた敏腕美人ケアマネとエプロン姿の天使たちに感謝する毎日です。

文中、「敏腕美人」という言葉がケアマネの定冠詞のように出ていますが、「敏腕」は客觀的事実、「美人」はワタクシの主觀と御本人の希望である事をいにつけ断りしておきます。これ見つかったふるふるだろうな・・・(笑)

(西澤里山通信員)

次回は1月25日(火)発行予定です

です。

猛暑といわれた夏の暑さもあり、3日の秋雨と共にすっかり秋めいてきました。人それぞれ季節の感じ方は違うと思いますが、この加茂地区では季節を五感で感じる事が出来ます。たとえば、霜刈りのあとでの野焼きの匂い、秋風に揺れる秋桜、少し黄ばんだらずの実、食卓に載った茹で栗、分厚く切られたさつま芋のてんぷら等々たくさんの物があります。個人的にはキンモクセイの香りがどこからともなく風の流れに乗って匂うとき、「山にきのこは出たのかなー」わざわざ、「神社の秋祭りだな」と秋の到来をすぐさま思い起します。もし、都内に住む人達にキンモクセイの香りから連想できぬもの上げてもいいたい、きっと「トイレ」という答えが一番になるのではないのかなどと勝手に思い込んでしまいます。この新聞が発行された頃には柿の実も食べられるを迎えていることでしょう。

とにかく、この地においては本当の意味での初物を味わう事が出来るのです。春にはたけのこ、わらびなどの山菜はもとより、うぐいすの声やツバメの巣作り、菜の花街道、夏には「ケーン、ケーン」と鳴くさじの声、「チャ、チャ」とすっかり声変わりしたうぐいすの鳴き声、露地物のキュウリやトマト、どうもろこしなど、冬には霜柱や氷柱(温暖化の影響なのか少なくなりましたが)と、とにかく都会では感じることの少なくなった自然がまだまだたくさんあるのです。関東で一番遅いと言われる紅葉の頃、久しぶりに大福山に出かけてみようと思います。

べっぴ語

客A「川口屋、今年のワカサギのあんべいはどうでえ?」私「去年よりはわざわざいけつど数はいづらい、いつとねもうよ」客A「あんにしきつてよ、うちでは一さんとあたつて顔をつきあわしてたつておんもんしきねーけん一日あそぼしてくつどよ。」私「たまにやつよーボー

tron乗つてわがさぎ釣りやつてみつがいよ。いつもよりしつか一鉤れつとねもうよ」客A「やつてみてーとおもうけんとねーこつたによー、おら一船酔いすりだよー」と言いつつ足元にはワンカシップが3本ほど転がっていました。

(西澤里山通信員)

次回は1月25日(火)発行予定です

です。

(西澤里山通信員)

次回は1月25日(火)発行予定です

です